

近畿共済安全通信



4月は小学生との交通事故が増える時期です

4月に入ると新学期が始まります。小学生をはじめ、多くの子どもたちが登下校を始める時期であり、この時期は小学生の交通事故の危険が高まる時期でもあります。

4月に事故が増加する要因の一つとして挙げられるのは、特に小学1年生が「1人デビュー」を迎え、**親の手を離れて通学を始めること**です。この時期、子どもたちは一人で外出する機会が増え、普段のように保護者が付き添うことがなくなります。また、季節が暖かくなり気分が高揚する中で、少しずつ学校に慣れていき、**緊張感が解けるため、注意力が散漫になりがち**です。

小学生の歩行中の事故の要因で一番多いのは『飛び出し』です

◎飛び出しの多い場所

- ・学校周辺や住宅街
- ・通学路の標識がある場所
- ・スクールゾーンの表示がある場所
- ・公園周辺



⇒子供の行動範囲のため要注意

◎特に横断歩道の前には注意
横断歩道手前では、減速・一時停止をし、通行しましょう。特に右左折時に横断歩道を通過する際は、車を子どもが認識できていないことがあります。この場合、子どもが渡っている信号が「青」であるため、十分に注意しましょう。

2025年度も近畿交通共済協同組合を
どうぞよろしく願いいたします！

